

# 1 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

## 概要

デジタル技術を活用した生産性の向上や新たなビジネスモデル・サービスの創出を支援するとともに、今後大きな成長が見込まれるデジタル関連企業の誘致の推進、デジタル社会を担う人材の育成、技術流出防止等の経済安全保障対策の推進等の取組を通じて、本県の産業力を大きく伸ばす

## 重点策

- ① 産業におけるデジタル化の加速
- ② 航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦
- ③ 水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

## (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標				
	★★★★★(目標を達成)						
	★★★★ (計画を上回る)	2	企業誘致件数、5G人口カバー率				
	★★★ (ほぼ計画どおり)	3	中小企業のIoT導入率 等				
	★★ (計画を下回る)						
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額				
— (数値が未公表)	2	光ファイバの世帯カバー率 等					
県民実感度調査 (%)	調査項目				そう思う	どちらともいえない	そう思わない
	航空機・宇宙機器産業への県内企業の本格参入や水中次世代モビリティ関連産業など新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる				26.0	29.6	44.4
	デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出や、デジタル基盤の整備、デジタル人材の育成・確保などが進んでいる				27.1	38.3	34.6

※そう思う：「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の計、そうは思わない：「そうは思わない」・「どちらかと言えばそうは思わない」の計(以下同じ)

## (2) 主な取組と成果

- ものづくり企業のDXに向けた取組を促進するため、未来技術の導入・利活用や、新たな製品・技術・サービス等の創出に向けた取組への一貫支援を実施するとともに、デジタル技術の実装に向けた取組を支援する補助制度を創設し、**実証4件、補助制度による実装3件を達成**(R4年度)。

### [実証事例]

- AI画像認識+5G通信を活用した工場内監視効率化の実証
- ARグラスを利用した遠隔作業支援と3Dモデル教育コンテンツを利用した人材育成
- 3DCG・360°VR映像による設計・現場シミュレーション
- 物流支援ロボットを活用した無人搬送化の実証

### [実装事例]

- 立体自動倉庫とRFID導入による資材管理の最適化
- 点検業務を支援するドローンライブ配信サービスの構築
- 3Dスキャナーを活用した点群データによる3D立体化

- 中小企業のDX化の裾野の加速的拡大を図るため、クラウド導入を行う基盤整備領域から、デジタル技術を組み合わせたDX化領域まで、フェーズに応じた切れ目ない支援を実施し、55社に対してクラウドサービス導入の支援を実施、35社に対して情報処理システム構築の取

主な取組と成果

組を支援。

[情報処理システム構築の支援事例]

クリーニング事業者の介護老人施設向け洗濯代行サービスにおける生産管理システムの構築を支援

- 未来技術を活用した新サービス等を創出する企業に対して、専門家派遣や補助金による支援により、**中小企業のIoT導入率を3.9%（H28年度）から22.2%（R4年度）に引き上げ**。
- 航空機・宇宙機器産業において、試作品作成経費の助成、展示会出展支援、新商品の研究開発に対する補助を行い、航空機・宇宙機器産業への参入を促進し、**受注獲得金額49,900万円**（H30～R4）を達成。
- 艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライトの民生利用の一環として、**県内で初めて水中ロボットフェスティバルを開催し、県内外から28チームが参加**（R4.8）。
- 水中次世代モビリティ関連産業の振興に向け、山口県産業技術センターが九州工業大学社会ロボット具現化センターや艦艇装備研究所と協定を締結するとともに、産学公連携による研究開発の促進やネットワーク強化等を図るため「**水中ロボット技術研究会**」を設立（R5.4）。

### (3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- デジタル技術の急速な進展に対応するため、生成AIなど、新たな技術の実証事業や実装支援を実施することにより、生産性向上等に取り組む事業者を支援していく必要がある。
- 他産業への波及効果の高い航空機・宇宙機器産業において、付加価値の高い大型案件を受注するための体制強化に向けた支援を行い、企業の成長を後押しする取組が必要である。
- 水中次世代モビリティ関連産業の振興に向けて、企業等による研究開発や事業化の促進のため、山口県産業技術センターに設置した「水中ロボット技術研究会」を中核として、ニーズ・シーズの発掘やネットワーク強化等に向けた更なる取組が必要である。

#### (参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

##### **新** 中小企業デジタル経営転換支援事業

県内中小企業の持続的成長発展に資するため、デジタル技術を活用し、生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指す取組を支援するとともに、情報セキュリティ対策支援を実施

##### **新** 水中次世代モビリティ関連産業育成事業

艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライトの運用開始を契機とした、水中次世代モビリティ関連産業の育成・集積の推進